

ウッド・チェンジ協議会

～ウッド・チェンジへの取組～

令和4年10月13日

林野庁





参加団体等・研究機関・企業における取組等について（目次）

【団体等】

公益社団法人経済同友会	2
一般社団法人日本経済団体連合会	3
日本商工会議所	4
一般社団法人住宅生産団体連合会	5
全国建設労働組合総連合	6
一般社団法人日本建設業連合会	7
公益社団法人日本建築士会連合会	8
一般社団法人不動産協会	9
一般社団法人全国木材組合連合会	10
一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	11
一般社団法人日本林業経営者協会	12
全国知事会	13
全国市長会	14
全国町村会	15
みなと森と水ネットワーク会議	16
ウッドソリューション・ネットワーク（農林中央金庫）	17
公益社団法人国際観光施設協会	18
一般社団法人日本プロジェクト産業協議会	19
公益財団法人日本住宅・木材技術センター	20

【企業】

東京海上日動火災保険株式会社	21
日本マクドナルド株式会社	22
ヒューリック株式会社	23
SMB建材株式会社	24
株式会社大林組	25
株式会社シelta	26
株式会社JM	27
住友林業株式会社	28
株式会社竹中工務店	29
東急建設株式会社	30
ナイス株式会社	31
前田建設工業株式会社	32
三井ホーム株式会社	33
三井不動産株式会社	34
三菱地所株式会社	35
株式会社久慈設計	36
株式会社日建設計	37
中国木材株式会社	38
銘建工業株式会社	39

【研究機関】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	40
----------------------------	----



ウッド・チェンジ・アクション

■ 木材利用推進全国会議としての活動を展開

- 2019年11月の発足以降、木材に関わるあらゆる事業者が一堂に会して勉強や情報交換を重ね、木材を利用しやすい環境の整備、木材利用が環境や社会に与える価値の共有などに取り組んでいる。
- 活動の一環として、セミナーを2回（2022年2月、2022年7月）、見学会を2回（2021年10月・高知県、2022年4月・秋田県）をそれぞれ開催。
- 2021年11月に開催した総会において、できることから木材利用の普及・拡大につながる挑戦をし、成果を報告・共有することを目的とした、「自主宣言」の策定を参加団体へ呼び掛けることを決定。54団体から回答を得た。
- 総会と第2回見学会については、本会広報誌「経済同友」2021年12-1月号および2022年6月号に当日の様子を掲載し、広く公開した。

今後のチャレンジ

■ 木材利用推進全国会議 自主宣言の拡大

- 木材利用推進の機運醸成に向け、自主宣言の趣旨の再周知を行い、宣言実施団体数増加を狙う。1つでも多くの参加団体のこの取り組みへ参加することを目指し、宣言にあたって参考となる好事例や失敗例を掲載した事例集作成を検討する。

【木材利用促進月間等での取組】

10月5日（水）～6日（木）に参加団体を対象とする第3回見学会を岡山県において実施予定。

課題・連携協力の可能性

- 課題：コストが若干割高でも木材利用を進めるメリットや意義をどう周知していくか
- 連携協力の可能性：先進的事例や木材利用推進にかかるイベントの周知等

関連情報

• 広報誌「経済同友」掲載記事 「木材利用推進全国会議」総会を開催 国産木材利用に向けた具体的取り組みを推進

https://www.doyukai.or.jp/publish/uploads/docs/202112_05.pdf

• 広報誌「経済同友」掲載記事 同友会は行動する“DO”友会！4月21～22日 木材利用推進全国会議 秋田県の取り組みを視察しました

https://www.doyukai.or.jp/publish/uploads/docs/202206_11.pdf



ウッド・チェンジ・アクション

- 建築物への木材利用の促進に向けて、会員企業を対象とし、関連する政府施策等についての意見交換会や説明会を開催。

1. 木材利用の拡大を通じた都市・住宅分野のカーボンニュートラルに向けた政府政策に関する意見交換会

- ✓ 2021年7月開催。約250名が参加。
- ✓ 内閣官房、林野庁、国土交通省より、国産材活用の意義、CLT（直交集成板）の利用拡大に向けた施策、木造建築物の建築基準合理化に係る取組状況等について聴き、意見交換。

2. 都市・住宅政策委員会企画部会

- ✓ 2022年2月開催。約100名が参加。
- ✓ 内閣官房、林野庁、国土交通省より、建築物における木材利用の促進を含む、社会資本整備審議会における議論内容等について聴き、意見交換。

今後のチャレンジ

- 都市・住宅分野のカーボンニュートラルに関連する施策の進捗状況等について、政府等より説明を聴き、会員企業への周知を促進。

課題・連携協力の可能性

- 関連する政府施策の周知等の協力。

関連情報

週刊経団連タイムス「木材利用の拡大を通じた都市・住宅分野のカーボンニュートラルに向けて」（2021年7月29日号）
https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2021/0729_08.html



ウッド・チェンジ・アクション

- 商工会議所は、地域総合経済団体として、**地域経済の活性化に向けた事業活動**を展開。木材利用促進に向けた取組みも、**自治体等とも連携しながら、地元産木材の活用支援等**を実施。
- 日本商工会議所では、各地商工会議所を通じて、**ウッド・チェンジ協議会の活動内容や各種施策等を周知**。
- 2022年2月には、日商機関誌「月刊 石垣」で林業振興の特集記事を掲載し、**各地商工会議所の会員企業における木材活用等を紹介**。
林業の活性化は、地方創生と地域経済の好循環につながり、**長期にわたり今後の地域産業を支える基盤となること**を強調し、ウッド・チェンジの機運醸成を図った。



同社森林や、自社木材を活用し、リノベーションしたゲストハウス等を紹介。



岩手県盛岡市の三田農林(株) (盛岡商工会議所・会員企業) では、自社の森林で100年育てた木材を使って住宅や商業施設を建て、雇用と賑わいをつくり出していることを紹介。



今後のチャレンジ

引き続き、各地商工会議所を通じて、会員企業等に対し、ウッド・チェンジ協議会で得られる情報や政府の各種施策等の周知を図る。

また、各地商工会議所等の木材活用に資する取組みの好事例を収集し、横展開を図る。

課題・連携協力の可能性

事業者等が木材利用のメリットや意義を感じられるための効果的な広報、自治体と地元経済団体等との連携強化が課題。

関連情報 「月刊 石垣」2022年2月号の特集記事で紹介した会員企業

- ・住友林業株式会社 【会社HP】 <https://sfc.jp> 【特集記事】 <https://ab.jcci.or.jp/article/61656/>
- ・三田農林株式会社 【会社HP】 <http://www.mitanorin.co.jp> 【特集記事】 <https://ab.jcci.or.jp/article/61691/>



ウッド・チェンジ・アクション

国土交通大臣に対し「地域型住宅グリーン化事業の継続・拡充（補助）」を要望（8/26令和5年度施策要望）

地域における中小住宅生産者と関連事業者等の連携により木造住宅の生産体制を強化し、ZEH等（木質バイオマス等を活用したLCCM住宅を含む。）の省エネ性能や耐久性等に優れた良質な住宅の整備を引続き促進するため、本事業を継続するとともに、補助単価の引き上げ、省エネ計算外注費用の補助対象化を要望した。

「木のある暮らし」作文コンクール開催

会員団体である（一社）日本木造住宅産業協会では、国交省主唱による毎年10月の『住生活月間』に関するイベントとして、国内外の小学校・日本人学校他の生徒から作文を募集し、優秀作品の表彰等により奨励。本年度で25回目となる。

- ・ 募集テーマ：「木のある暮らし」
- ・ 募集期間：令和4年6月1日～9月6日
- ・ 表彰式：令和4年10月29日

今後のチャレンジ

- 木造の耐火性能向上に係る技術の普及を図り、都市部における中高層木造の拡大に取り組む。
- 木造・木質化の推進とウッドショックの再発抑止の観点から、林野庁及び国土交通省が連携して行う国産木材の安定的な需給体制の確立に住宅事業者の立場から協力。
- 2050年カーボンニュートラル達成に向け、ZEHの普及が求められているが、木造住宅のZEHに占める割合を十分に確保するため、中小住宅生産者に対しZEHに関する設計・施工研修を推進する。

課題・連携協力の可能性

- 木造建築物の設計・施工者の育成
- 外国産木材に対抗できる低廉良質な国産木材の安定的な供給体制の実現

関連情報

一般社団法人 住宅生産団体連合会 ホームページ：<http://www.judanren.or.jp/>



全国建設労働組合総連合（組合員62万人・うち大工12万人・53加盟組合）

ウッド・チェンジ・アクション

住宅・建築物における木材利用促進・大工技能者の育成等により“2050年カーボンニュートラル”の実現に貢献

1. 木造住宅の施工に携わる大工技能者の育成等
 - ・学校教育現場におけるキャリア教育の推進
 - ・認定職業訓練校の運営による若年技能者の育成
 - ・全国青年技能競技大会の開催
 - ・登録建築大工基幹技能者講習の実施
2. 各地域での「木材利用促進協定」の締結推進
3. 地域で開催する「住宅デー」における木工教室
2021年度 714会場 2.3万人来場
4. 災害時の木造応急仮設住宅の供給体制整備



地域材を使用した木造
応急仮設住宅（熊本県）



第44回住宅デーでの
カナナ体験（佐賀県）

今後のチャレンジ

- 大工技能者育成に関する事業の継続
- ウッドショック・カーボンニュートラル等を踏まえた国産材への転換支援、大工・地域工務店の国産材使用率等の実態把握
- 地域工務店の非住宅木造建築の受注支援
- オンラインセミナーの継続的開催

10月は木材利用促進月間

10/26水 **日本の森林と木材利用促進**

講師 林野庁 林政部 木材産業課長 齋藤 健一さん

プロフィール 平成5年に林野庁入庁後、林野庁森林整備部室長補佐（兼務）、林野庁国産材振興企画課課長補佐（兼務）、林野庁林政部木材産業課木材製品技術室長を経て、令和3年7月より現職である林野庁林政部木材産業課課長に就任。
国産材の産地企業から木材・木材加工品の技術開発や住宅等の木質部材・工法等の技術開発の分野で活躍。現在は産材生産及び木材・木材加工品の流通の効率化を進め、木材産業の振興に尽力。

18:30-20:10

課題・連携協力の可能性

- ウッドショック・国際情勢を踏まえた地域工務店の木材調達のある方検討、川上・川中・川下による連携の促進
- 木造建築の脱炭素貢献の見える化

関連情報

全国建設労働組合総連合（全建総連）Webサイト <https://www.zenkensoren.org/>



ウッド・チェンジ・アクション

大規模・中高層建築物の木造・木質化を推進

1. 社会的認知度の向上
 - ・木造・木質建築物の事例・関連情報の集約
 - ・LCCO2削減量の算定方法に関する情報の整備
2. 木材利用のメリットの向上
 - ・木材利用のメリット・デメリットの整理・発信
3. RC造、S造との価格競争力の向上
 - ・標準化・規格化によるコスト削減
4. 防耐火規制の合理化
 - ・木質建築関連法規制及びその運用の情報収集
 - ・関連法令の合理化等に向けた意見の集約、提案

今後のチャレンジ

- 建設業における脱炭素社会実現への貢献
 - ・製造・施工段階におけるCO2排出量低減
 - ・運用時と解体後の再利用によるCO2固定量拡大
- 建設業における非住宅分野への木材利用拡大
 - ・鉄やコンクリートに代わる材料としての木材利用
 - ・森林資源と地域経済の持続可能な好循環の創出
- 建設業における労働力不足と働き方改革への貢献
 - ・軽量・加工容易性による生産性の向上
 - ・工場生産・ユニット化工法による生産性の向上

課題・連携協力の可能性

- ・川上(林業)・川中(木材メーカー)と川下(建設業)との木材利用・調達における課題共有と連携協力
- ・規制緩和・合理化に向けた行政庁との連携協力

関連情報

一般社団法人 日本建設業連合会 ホームページ : <https://www.nikkenren.com/>



ウッド・チェンジ・アクション

- ◆ 2015年8月、新国立競技場の屋根構造の木造化をオリパラ担当大臣他関係者に提言。
- ◆ 第60回建築士会全国大会京都大会（2017年12月）を「山とまちと木造建築」をテーマに開催。
- ◆ 2020年、連合会に木のまちづくり部会を設置。部会では木造住宅、中大規模木造建築物の設計・工事監理・施工に関する課題等について議論。
- ◆ 埼玉建築士会、愛知建築士会等において、川上から川下が連携しつつ、中大規模木造建築技術者を養成。
- ◆ 2021年度、連合会と木の建築フォーラムとの共催により、東北ブロックを対象に「木の建築賞」を選定。
- ◆ 2021年11月、国土交通省と連合会が、「木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する建築物木材利用促進協定」を締結。
- ◆ 2022年、埼玉建築士会、岡山県建築士会が、県との間で建築物木材利用促進協定を締結。

今後のチャレンジ

- ◆ 建築士会の協力の下でセミナー等を開催し、木造建築物の設計・施工に係る技術者を育成。
 - ◆ 埼玉建築士会、愛知建築士会の取組みを全国の建築士会に横展開を図り、中大規模木造建築技術者の養成を推進。
 - ◆ 「木の建築賞」を木の建築フォーラムと共催し、全国7ブロック単位で巡回実施。2022年度は東海北陸ブロックを対象に選定。
 - ◆ 都道府県と建築士会による建築物木材利用促進協定の締結を推進。
- 【木材利用促進月間等での取組】**
- ◆ 建築士会全国大会あきた大会において木造建築物に関するプログラムを実施。

課題・連携協力の可能性

- ◆ 地域の木材流通ネットワーク構築のため、都道府県の建築士会と関係団体との一層の連携が重要。

関連情報

建築士会全国大会あきた大会 http://www.akitakenchikushikai.or.jp/zenkokutaikai/index_zenkoku-taikai.html
木の建築賞 http://www.forum.or.jp/menu2_10.html



ウッド・チェンジ・アクション

- 中高層建築物における木材利用を念頭においた、
 - ・「CLTの普及に向けた新たなロードマップ」に関連する各種検討委員会等への参加と、同会におけるデベロッパーの課題認識に係る情報発信
 - ・同会における検討状況や、関連団体における木材利用の普及に係る施策の当協会会員宛て情報提供
 - ・木材利用を検討するデベロッパーが抱える個別課題に対する省庁宛て個別相談

今後のチャレンジ

- 徐々に増えつつある事例を通じ生じた新たな課題等について、関係省庁等宛て情報発信
- 個別課題の意見交換や、現地視察等を通じた官民（個社）の交流機会の設定
- 同ロードマップに基づく課題解決に対する協力

課題・連携協力の可能性

- 課題
コスト優位性の確保、防耐火・構造等基準の合理化、脱炭素効果の評価方法の確立、安定供給等
- 連携協力の可能性
関係省庁・関係団体・民間企業との橋渡し

関連情報

一般社団法人 不動産協会

会員数：155社（令和4年9月1日現在）
ホームページ：<https://www.fdk.or.jp>



ウッド・チェンジ・アクション

1. 都市の木造化・木質化に向けたネットワークの構築
 - ・森林・林業、木材産業、建築・建設関係団体による協議会
 - ・議員連盟、知事会、政令都市議連、経済団体等との連携
2. 非住宅建築物へのJAS構造材の活用、外構部の木質化等都市の木造化・木質化の促進
3. 建築設計者に対する木造中高層建築に関する技術普及活動（埼玉、栃木、千葉、愛知、広島、佐賀など）
4. 内装、家具等高付加価値利用に向けた取組み強化
 - ・デザイナー、クリエイター等との対話
5. クリーンウッド（合法伐採木材）の普及拡大

今後のチャレンジ

- ・「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用の定着
- ・非住宅建築における木材利用拡大
- ・消費地である「都市」での木造、木質化の推進
- ・環境価値を含めた国産材の高付加価値利用の拡大
- ・JAS材、グリーンウッド等の普及拡大

課題・連携協力の可能性

- ・幅広い関係者による国産材利用についての国民運動の展開
- ・「山に返せる」国産材利用の拡大

関連情報

森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会 <https://machi-mokuzouka.jp/>
 木材利用推進中央協議会 <http://www.jcatu.jp/home/>、もりんく <https://molink.jp/>
 JAS構造材利用拡大 <https://www.jas-kouzouzai.jp/>、外構部の木質化 <https://love.kinohei.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

1.住宅用プレカットと任意形状加工可能な特殊加工機を用いた、店舗の加工

- ・住宅用プレカットと任意形状可能な特殊加工機を併用することによって、低コストかつ魅力的な架構を実現
- ・地域材（国産材）を無理なく使用することによって環境への配慮と地域経済の活性化に貢献



2.全国各地で講習会を実施

- ・コストに配慮した非住宅木造を実現するためのノウハウについての講習会
- ・木質の魅力とコストを持ち合わせた汎用トラスの設計・施工の講習会

今後のチャレンジ

高倍率耐力壁（CLT）の開発
20m超スパン対応のトラスの接合部の開発
中大規模木造プレカットCAD技術者育成（表彰）
講習会開催

- 横架材の国産材活用セミナー
- 標準図・筋かい・監理マニュアル講習会
- 概算積算・設計見積セミナー
- JISトラスマニュアルセミナー
- 平行弦トラスマニュアルセミナー
- 張弦トラスマニュアルセミナー

上記講習会を木材利用促進月間等で開催予定

課題・連携協力の可能性

中大規模木造建築の普及を目指し、施主・設計者の理解を深め、国産製材・および国産木質材料をメインに使用できる構造システムの構築と開発を続けて行く。

関連情報

技術情報や講習会の予定はこちらから <https://www.precut.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

～会員の取組み事例～
イオンモール熱田 休憩室
内装木質化の効果実証

商業施設従業員休憩室における内装木質化の効果実証として、内装木質化することにより従業員に与えるリフレッシュ効果や、木材と光の相互関係を理解し快適空間づくりへの知見を得ることに取り組んだ。



使われていなかった喫煙室も木質化→

今後のチャレンジ

高齢者福祉施設の内装木質化など効果実証の知見を積み重ね、より信憑性の高いエビデンスを得ることで、様々な施設の木質化へ繋げていきたい。

【木材利用促進月間等での取組】

- ・WOODコレクション2022inあいちに出展
愛知県産材のPR活動
- ・SDGs AICHI EXPO2022に出展
循環型社会の実現に向けた取組み事例紹介
- ・しんきんビジネスマッチング2022に出展
内装木質化や木製什器のPR活動

課題・連携協力の可能性

- ・地域材活用の意義や魅力の周知・啓発
- ・異業種・大学との連携で木材を用いた社会問題（カーボンニュートラル・健康経営等）の解決へつなげる

関連情報 西垣林業株式会社 <https://www.nishigaki-lumber.co.jp/>

公益財団法人日本住宅・木材技術センター <https://www.howtec.or.jp/files/libs/4179/20220523152746164.pdf>



ウッド・チェンジ・アクション

■ 国への提言策定・関係省庁への要請活動の実施

➢ 「4つの重点事項」を中心に要請

- 民間非住宅建築物の木造化・木質化の推進
- 財源の確保
- 建築士等の育成
- 国産木材への転換促進



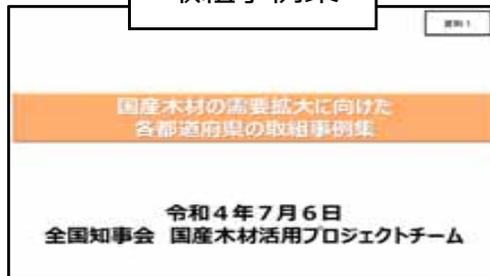
■ 「国産木材需要拡大宣言」に基づく各自治体の取組

- 国産木材活用推進に係る取組事例集の作成
- いくつかの取組についてはP T会議の場で発表
⇒優良事例の横展開を積極的に実施

要請活動の様子



取組事例集



今後のチャレンジ

■ 引き続き、「国産木材需要拡大宣言」に掲げる取組方針に基づき、各都道府県がそれぞれの地域の実情に応じながら、知恵を絞って個性や強みを活かした施策を実践

- 公共建築物 ・備品や消耗品 ・木塀設置
- 市区町村との連携 ・教育活動や広報活動
- 民間事業者へ働きかけ ・建築士等の育成
- 新たな製品や技術の研究開発
- 安定供給体制づくり ・花粉発生源対策

■ 先進・優良事例について、お互いが連携して効果的な共有・発信

(各都道府県の取組)

https://www.nga.gr.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/2/03_220706_mokuzai_torikumijireishuu.pdf

課題・連携協力の可能性

■ 国産木材活用の意義や魅力の周知・啓発

- 他団体と連携したイベント開催・P R

■ 木材需要者と木材供給者を繋ぐ仕組みの構築

- 林業DXに繋がる各種システムの構築 等

関連情報

全国知事会 国産木材活用P T H P : http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/project/kukusan_mokuzai_katsuyou_pt/index.html

※ H P 内に「国産木材活用についての基本情報」のコンテンツがあり、木材の魅力等についてP R



ウッド・チェンジ・アクション

◆ 林政問題に関する研究会(委員市102市 令和4年8月末時点)

- ・ 林野行政を取り巻く諸課題等についての情報収集・意見交換を行うとともに、林野行政の今後のあり方等について調査研究を実施。
- ・ 「森林・林業に関する提言」のとりまとめ。地域材の安定的・効率的な供給体制の構築、国産材の利用拡大の推進、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進等について提言。

・ 委員市（岡山県真庭市）の取組事例

- CLTセミナー開催（CLTの普及促進活動）
- 市内製材等業者と都市部建築家との連携による木材需要創出事業を展開（「建築家の椅子展」開催等）
- 民間木造住宅の新築支援、民間非住宅の改修等にかかる木質化支援（炭素固定量を明示したプレートを配布）
- 10月に「木材利用促進月間」の懸垂幕を市庁舎に掲揚



今後のチャレンジ

- ◆ 国産材の利活用の重要性について理解を深めるため、林政問題に関する研究会において、木材利用に係る優良事例や、先進的な都市自治体の取組等について情報共有。
- ◆ 国産材の利用拡大、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進について、提言のとりまとめ及び関係府省庁への要望活動を引き続き実施。

課題・連携協力の可能性

- ◆ 森林環境譲与税の更なる活用の推進、木材加工流通施設等の整備、公共建築物等の木造化・木質化に係る財政支援、施工者の技術力向上に係る支援等が課題。

関連情報

林政問題に関する研究会「森林・林業に関する提言」（令和3年10月）

https://www.mayors.or.jp/p_opinion/o_teigen/2021/10/211011rinsei-teigen.php



ウッド・チェンジ・アクション

■ 間伐材の積極的利用

- 全国町村会館(東京都千代田区)内レストラン(2か所)では間伐材マーク付きの割り箸を使用、積極的な活用に取り組んでいる。



■ 町村での木材利用

- 北海道白糠町では地元木材を多く使用した「白糠町立庶路学園」を建設。

(2018年設立)

木質バイオマス発電にも力を入れ「ゼロカーボンシティ」を掲げている。



- 栃木県茂木町にふんだんな町有林を使用した文化交流施設「ふみの森もてぎ」の建設。(2016年完成)

木材は全て町有林を使用。バイオマス産業都市を目標として未利用木質バイオマス資源の短中期的な利用を目指している。



今後のチャレンジ

- 広報誌やHP等を通じたウッド・チェンジ・アクションの一層のPRを図りたい
- 町村における木材利用の先行的かつ優良事例の収集と紹介に努めたい。

課題・連携協力の可能性

- 木材利用の前提となる森林・林業政策に従事する職員体制の充実が課題。
- 国や関係団体と連携しながら木材利用の促進を図りたい。

関連情報

白糠町立 庶路学園 <https://www.town.shiranuka.lg.jp/section/kyoiku/shoro/index.html>

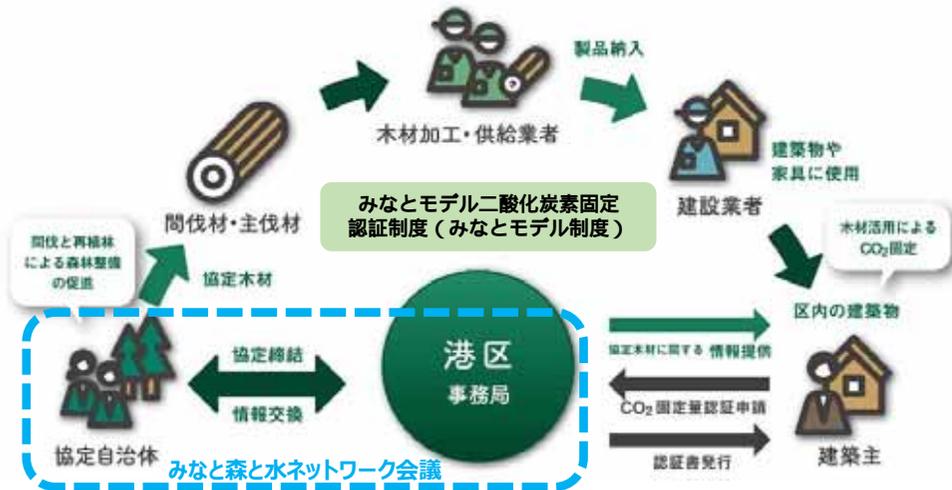
ふみの森もてぎ <https://fuminomori.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

- ◆2009年10月 二酸化炭素の削減に取り組む都市部の港区と、林業の活性化を図る森林資源が豊富な全国の自治体とが、それぞれの課題解決を図る連携組織「みなと森と水ネットワーク会議」を発足
- ◆2011年10月 港区内で床面積5,000㎡以上の建築を行う建築主に対し、床面積1㎡当たり0.001㎡以上の協定木材(※1)又は国産木材の使用の協力を要請する「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を開始

※1 港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結した自治体から産出された木材から産出された木材



今後のチャレンジ

- ◆毎年「みなと森と水ネットワーク会議」の参加自治体の首長と更なる木材活用促進に向けて意見を交わす「みなと森と水サミット」を開催（昨年のミットでは、優良な木造・木質化の民間建築物等を協定自治体とともに審査する表彰制度を創設することについて意見交換）
- ◆今後、年1回表彰式を実施



【木材利用促進月間等での取組】

- ・みなと森と水サミットの開催
- ・サミットのプログラムとして表彰式を開催



課題・連携協力の可能性

【課題】協定木材の更なる利用促進

【連携協力】協定自治体数 約80自治体
みなとモデル登録事業者数 約400社 (※2)

※2 協定自治体産の木材を製材・加工・取引可能な事業者数

関連情報

ホームページ：<http://www.uni4m.or.jp/>

Youtubeチャンネル：https://www.youtube.com/channel/UCK6Mb9ib_VEaU3kOKwwRgUQ



ウッドソリューション・ネットワーク（事務局：農林中央金庫）

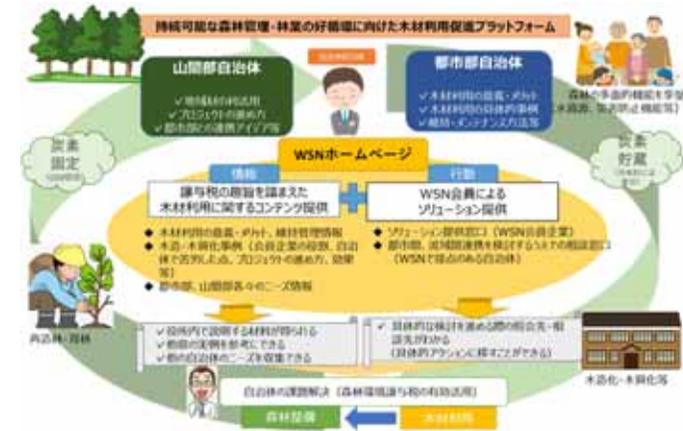
ウッド・チェンジ・アクション

- ◆ ウッドソリューション・ネットワーク（以下WSN）は、木材利用促進を目的に、会員企業31社で構成する団体（事務局：農林中央金庫）
- ◆ 木材利用システム研究会・東京大学木材利用システム学寄付講座との共催による「基礎講座 今からでもOK!「木材産業におけるSDGs/ESG」入門を、Webにて開催。
- ◆ 2021年9月～11月まで、毎週全14回開催。全国の森林組合関係者を中心に約200名が参加。

講演タイトル	講演タイトル
第1-2回 オリエンテーション SDGs/ESGを知っていますか？	第9-10回 ESG経営とは何だろう？ サステナブルファイナンスとは何だろう？
第3-4回 気候変動問題とは何だろう？ 木材利用による環境貢献の計り方	第11-12回 木材産業の先進的な取り組みを知る 林業（森林組合）の先進的な取り組みを知る
第5-6回 地域活性化とは何だろう？ 木材利用による地域経済貢献の計り方	第13-14回 まとめ木材産業におけるSDGs/ESG参加者との意見交換
第7-8回 世界と日本の木材流通 違法伐採対策を含めた持続可能な木材調達の現状	

今後のチャレンジ

木材の利用促進が、森林の循環を通じ森林整備につながるの思いの下、森林環境譲与税の木材利用にかかる活用方法等で悩んでいる市町村の方へ、WSNホームページを通じた情報提供について対応を進めている。



課題・連携協力の可能性

木材利用を促進するうえで、木材利用の効果（環境貢献・経済）をわかりやすい数値で示すことが重要な課題と認識。今後取り組んでいきたい。

関連情報

ウッドソリューション・ネットワークホームページ： <https://www.wsn.org>



ウッド・チェンジ・アクション

・国際観光施設協会は「木」の持つ優しさや温もりが、観光交流空間のホスピタリティを生み出し、魅力向上につながる事に着目し、また国産材の使用が都市と地方との自然循環社会を創出し、地方創生と都市の魅力向上につながると考え、国産材の使用を推奨する活動を続けてきた。

・2012年に「木ちから」をテーマに活動をスタートし、2015年よりは「木づかいのこころ」として、「美蓄木道」を提案し、毎年東京ビッグサイトで開催される「国際ホテルレストランショー」にてその成果の提案・展示を行っている。

・2021年にはオリンピック選手村ビレッジプラザのウッドリターン事業に共感し、協会会員よりアイデアを募るコンペティションを主催し、顕彰を行った。またその成果を資材を提供した各地方自治体他、協会HPなどで広く周知し、ウッドリターン事業に支援を行った。



今後のチャレンジ

・次年度は協会創立70周年を迎えることもあり、今年度よりプレイベントとして種々の企画を進めている。

・協会会員による国産材活用の事例の紹介、又最新の木構造技術の報告など含めて、国産材活用に向けての出口戦略提案をシンポジウム形式で行う。

・協会と友好関係のある林産地に出向き、伐採式典と併せ記念植樹祭を行い、林産地との交流を行う。



課題・連携協力の可能性

・会員企業は各々SDG'sの取り組みを行っており、国産木材の活用も推進している。当協会は「木づかい」活動を通して会員と連携し、結びつける事で、新たな価値を創出するプラットフォームとしての機能を持つ。

関連情報

国際観光施設協会ホームページ <http://kankou-fa.jp>



ウッド・チェンジ・アクション

JAPICの目標

“林業の成長産業化” “地域創生”

- 森林再生事業化委員会
(委員長：酒井 秀夫 東京大学名誉教授)
・政策提言（6月30日織田林野庁長官へ手交）
 - ①林業の成長産業化推進
 - ②多様な生活スタイルと林業の両立
 - ③林業DX(デジタルツイン)への変革
 - ④国産材の需要拡大への取組
- 林業復活・地域創生を推進する国民会議
(会長：三村 明夫 日本商工会議所会頭)
・10月12日 第8回国民会議開催予定



織田林野庁長官への提言手交



国民会議・林業WG開催の様子

今後のチャレンジ

- 新たな視点も加えた取組の継続
 - ①提言実現に向けた検討深化
 - ②林業イノベーション (ex. 林業DX)
 - ③カーボンニュートラルへの貢献
 - ④働き方改革への貢献

WG視察の様子



((株)大林組 Port Plus)



((株)竹中工務店 水戸市新市民会館)

課題・連携協力の可能性

産官学交流のプラットフォームとして、引き続き情報共有や政策提言を精力的に実施して参ります。

関連情報

JAPIC森林再生事業化委員会：http://japic.org/project_outline/forest/index.html

林業復活・地域創生を推進する国民会議：<http://www.ringyoufukkatsu-shinrinsaisei.jp/conference/>



ウッド・チェンジ・アクション

当センターは、木材と建築に係る産・官・学界の接点となり、技術の開発普及、品質性能の向上等を推進することを目的として設立された財団法人

政策ニーズ、現場動向等に即した各種公益事業を通じて、木材利用の新たな道を開くウッドチェンジに貢献

- ・CLT等新技术を用いた建築の実証、内外装木質化の効果の見える化の実証等の支援、成果データ等の公開
- ・木造建築用接合金物の開発・標準化、木質材料・住宅供給システム・構造計算プログラム等の認証
- ・建築基準合理化等に対応した新開発製品・構法に対する構造・防耐火試験、性能評価
- ・木造建築物の設計等に関する技術資料の発行、講習、各種情報共有化活動の実施

今後のチャレンジ

- ・中大規模木造化に向けた技術開発促進に資する高強度構造試験、長時間防耐火試験の実施
- ・中大規模木造建築の低コスト化、効率化に資する高耐力金物の開発・標準化、BIM対応の検討
- ・中大規模木造建築技術者の育成、体制強化に資する技術解説書や普及資料の作成、発行
- ・中大規模木造関連情報の抜本的共有化を図り、関係者を結ぶ中大規模木造建築ポータルサイト、中大規模木造建築データベースの充実・強化

課題・連携協力の可能性

関係行政機関、研究機関、業界団体等が進めるウッドチェンジ関連諸活動、プロジェクト等への積極的参画・連携に努めてまいりたい。

関連情報

(公財) 日本住宅・木材技術センター
 中大規模木造建築ポータルサイト
 中大規模木造建築データベース

<https://www.howtec.or.jp/>
<https://mokusouportal.jp/>
<https://www.daimoku.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

<新・本店ビル計画>

2024年12月着工→2028年度竣工予定

～国産木材を使い木の使用量が世界最大規模となる高さ 100m の「木の本店ビル」へ～

- ◆ 新・本店ビルは、構造部材である柱、床に国産木材をふんだんに使い、木の使用量が世界最大規模となる高さ100mの「木の本店ビル」として生まれ変わります。
- ◆ 大量の木材の需要が、我が国の林業の再生や地方における雇用の創出、ひいては地方創生、地域循環型経済の構築に寄与することを願っています。また、CO2を吸収・貯蔵する機能を持つ木材を大量に使用することにより、脱炭素社会の実現に貢献します。



※国際的なグリーンビルディングの認証プログラムである LEED®のv4 における「LEED® for Building Design and Construction: New Construction」の категорияで最高レベル「Platinum」の予備認証を取得

所在地及び地番	東京都千代田区丸の内1丁目6番1
敷地面積	10,147.61 m ²
主要用途	事務所(本店ビル)、駐車場等
構造	S造/木造/SRC造
規模	地下3階、地上20階、塔屋2階
建物高さ	約100m
延床面積	約130,000 m ²

今後のチャレンジ

- ◆ 一般的なビルに比べて建築時の CO2 排出量を3割程度削減することに加え、高効率の設備や地域冷暖房の採用、使用電力に100%再生可能エネルギーを導入するなどの施策により、省エネルギーの推進、脱炭素社会の実現に貢献します。
- ◆ 東京海上グループは、これからもステークホルダーの皆様とともに、災害レジリエンスの向上、健やかで心豊かな生活の支援、気候変動対策の推進、D&I の推進・浸透に繋がる取り組みを通じて、SDGs の達成に貢献してまいります。

課題・連携協力の可能性

地方創生の取組みと共に、「木の良さ」の発信、木材利用促進を実行していきたい。

関連情報

東京海上日動火災保険株式会社ホームページ : <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

- ✓ 低コストを実現するべく、様々な構法を検証した結果、国内の汎用材を活用することで、投資コストと工務店の負担を削減できる木造平屋建て2モデルを策定した (DT-150及びDT-240)
- ✓ 2022年末までに、木造2階建て5店舗、木造平屋建て14店舗、合計19店舗を出店できる見込み
- ✓ 木造平屋建ての2モデルを標準として展開することで2023年末までには木造50店舗の出店を想定している
- ✓ 外装装飾材を国産木材を標準として展開している

新モデルDT240



今後のチャレンジ

- 木造2階建てのモデル化を完了させ、国産材の使用量の拡大に努めたい



課題・連携協力の可能性

- 木造によるコスト削減の追求、及び、計画全体の期間短縮の模索を継続していく
- 人工林の若返りによる環境への効果をより具体的に説明する為の情報把握したい

関連情報

https://www.mcdonalds.co.jp/newcommon/csr2019/pdf/csr2019_jp_scale_for_good.pdf



ウッド・チェンジ・アクション

HULIC & New GINZA 8



- 延床面積 2,459㎡
- 階数 地上12階/地下1階
- デザイン監修 隈研吾建築都市設計事務所
- 設計・施工 竹中工務店
- 竣工 2021年10月15日



- 国産材使用量 約300m³
- 炭素貯蔵量 約207t-Co₂
- 使用した木材のもととなる立木と同量の伐採・植林・下刈りを実施
- 耐火集成材の柱・梁、CLTの天井を、テナントは内装としてそのまま使用

今後のチャレンジ

- ・中高層非住宅建築や低層高齢者施設の木造化、木質化
 - ・・・木とRC・Sを適材適所に使用した木造化を推進することで経済的にも合理性の高い建築を設計
- ・国産材の積極的使用

課題・連携協力の可能性

- ・事業性向上のために、建設費の削減と躯体断面寸法の最小化を実現する新建材の開発

関連情報

ヒューリック株式会社ホームページ <https://www.hulic.co.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

-民間需要の開拓 & 構造・工法等の適材適所の提案-



(上)

- 建設地：北海道
- 用途：蒸留所
- 構造：複合構造
(木造・RC造・S造)



(右)

- 建設地：長野県
- 用途：ホテル
- 構造：RC造一部木造



- 建設地：宮城県
- 用途：構造復元
展示施設
- 構造：木造
(在来+GIR)

今後のチャレンジ

公共・民間物件への更なる木材利用の促進



- 多様化するニーズに対応できるサポート体制の確立と技術の深化、品質の向上
- 木を活かした「構造」「工法」「部材」等の適材適所への提案
- 構造部材をあらわしで使用する木造耐火建築物・準耐火建築物の促進
- 接合部が露出せず高耐力・高剛性を持つGIR接合の更なる普及と技術・品質の向上
- RCやS造の高層建築物の壁、床材にCLTを提案

課題・連携協力の可能性

- 森林組合・製造工場・加工場との連携強化
- 計画初期段階からの施主・設計事務所等との連携強化
- クライアントへの木材利用促進の情報発信強化

関連情報

サミットHR工法：<https://summit-hr.com/>



ウッド・チェンジ・アクション

【木造・木質化建築に取り組む意義】

森林資源の循環利用・森林再生に繋げ、
カーボンニュートラルの実現やSDGs達成に貢献



都市木造実現への取組み

- ① 自社社員寮の居室階をCLTユニット工法で実現
- ② CLT耐力壁(軸組架構)を意匠的に活用した事務所
- ③ 高層(宿泊室)階をハイブリッド構造とした高層建物



今後のチャレンジ

都市木造（純木造・ハイブリッド構造）の実現に向けたチャレンジ

【設計/施工上の課題】

- ・部材接合部の剛性確保/施工省力化
 - ・耐火仕様（コスト・施工省力化）
- ⇒工法・技術の開発

【木材利用促進月間等での取組】※詳細別紙

- ・高層木造建築「Port Plus」展示会（横浜）
- ・木材利用促進研修会（横浜）
- ・木造関連技術紹介（オンライン）

課題・連携協力の可能性

【大規模木造における構造材調達】

- ・国際情勢の影響も踏まえた構造材の調達対応
- ※需要 > 供給 → 納期・調達コストの問題



国内製造・加工メーカーとの連携を構築

関連情報

『OBAYASHI WOOD VISION』

<https://www.youtube.com/watch?v=luDMjMwqCDw>

大林組木造建築スペシャルサイト

『Port plus』

<https://www.oyproject.com/>





ウッド・チェンジ・アクション

木質耐火部材「COOL WOOD」を活用した木造ビル KITOKI（日本橋兜町）

建築主：平和不動産株式会社

設計・施工：株式会社ADX

2022年4月竣工

地上10階建、事務所・店舗

SRC造の3層飛ばしメガストラクチャーに
木造を内包するハイブリッド構造



地域産材を活用した児童遊戯施設 シェルターインクルーシブプレイス コパル

建築主：山形市 設計：大西麻貴+百田有希/o+h

施工：高木・シェルター特定JV 2022年4月オープン



今後のチャレンジ

「木造都市」の実現

- ・都市部での木造ビル、大規模木造施設の普及拡大（銀座高木ビル 2023年4月竣工予定▶）
- ・国産材、地域産材の活用による、SDGs・脱炭素 社会の達成に寄与する木造化の推進



【木材利用促進月間等での取組】

- 10/3 U35展 トークイベント「都市に森をつくる」
- 10/11 「シェルターインクルーシブプレイス コパル」完成見学会

課題・連携協力の可能性

- ・（一社）日本木造耐火建築協会を通じた木造耐火技術の普及（マニュアル2022年版発行）
- ・他企業との連携による木造技術開発



関連情報

【HP】www.shelter.inc

【Facebook】@shelter.fb

【Instagram】@shelter.ig



ウッド・チェンジ・アクション

①顧客の木造施設を3Dモデル化し、木材の数量算出の標準化を行った。木造標準化システムを実施設計の見積りに活用した。その実績により、他の取引先へ展開している。



図.木造店舗躯体3Dモデル

②公共施設の包括管理業務において、木造施設の点検から、耐用年数を判断し、長寿命化する課題がある。顧客要望は建替えよりも節約志向であることから、劣化度を点検、評価する必要がある。木部の修繕計画を策定し、日々の維持管理を行っている。これらで得られた情報を修繕計画にフィードバックしていく。

今後のチャレンジ

これまでの活動で保有した3D設計技術を地域工務店・設計事務所に展開していく。

<メリット>

- ・木造施設の基本計画時における、プランによる躯体の断面・数量の増減等、予算検討の迅速化を図れる。
- ・施主に対し、基本計画イメージを3Dでリアルに提示し、意思決定の迅速化に貢献。

【木材利用促進月間等での取組】

ウッドチェンジ協議会の趣旨とグループの活動を社内全国ネットに展開する。

課題・連携協力の可能性

地方自治体と木造施設の維持管理、長寿命化について、地元企業との連携も含めた取り組みを実践する。

関連情報

株式会社JMホームページ : <https://www.matabee.com/>



ウッド・チェンジ・アクション

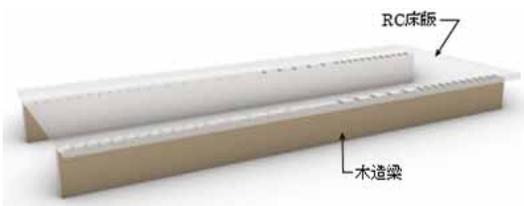
木材を活用したプロジェクト事例



上智大学四谷キャンパス15号館
 所在地 : 千代田区
 構造 : 木造 耐火構造
 地上3階建て
 延床面積 : 478.35 m²
 スケジュール : 2021年5月着工
 2022年5月竣工

※ポストテンション耐震技術、
 木ぐるみFR[®]、S-100を採用

木材を使用した技術開発



木質梁とRC床版を接合した
 「合成梁構法」

*株式会社日建設計と共同開発

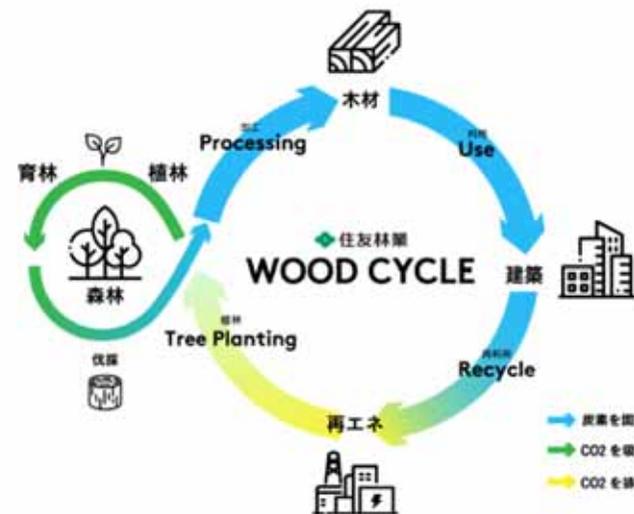


耐震性の高い木質座屈拘束ブレース

*株式会社熊谷組と共同開発

今後のチャレンジ

「森林」「木材」「建築」、3つの分野で展開する脱炭素事業3本柱にて、持続可能な社会を実現する「住友林業のウッドソリューション」の提供



課題・連携協力の可能性

- ・中大規模木造建築における木材使用量
- ・建てるときのCO₂排出量等を見える化するソフトウェア「One Click LCA」を用いた脱炭素化

関連情報

当社WEBサイト「中大規模木造建築 (MOCCA)」 <https://sfc.jp/mocca/>



ウッド・チェンジ・アクション

竹中2022アクション

続々と木造・木質建築プロジェクトが竣工します。

水戸市新市民会館

立命館アジア太平洋大学 教学新棟



工事施工



設計・施工

竹中2022アクション

木のイノベーションで木材利用の場を広げます。

2019

2021

2021

2025

今後のプロジェクト



三菱地所
PARK WOOD 高森
設計・施工



野村不動産
ブラウド神田駿河台
設計・施工



HULIC
& New GINZA 8
設計・施工



2025年
ALTA LIGNA TOWER



三井不動産
日本橋本町一丁目計画
設計・施工

Beyond 2025

新・本店ビル
東京海上日動火災保険
※ 施工JV予定

(仮称)仙台区分町
プロジェクト
合同会社ウッドライズ
キャピタル
※ 設計・施工

今後のチャレンジ

中高層木造・木質建築での木材利用で森林グランドサイクル®の維持・拡大を目指します。



今年の木材利用促進月間！



2022年10月26日（水）

12:00-20:00



課題・連携協力の可能性

立命館・アジア太平洋大学（大分県）との木材利用等での連携協定、地域企業との連携により、九州の木材にこだわって木を使った校舎施設の整備。



関連情報

キノマチ
プロジェクト

キノマチウェブ : <https://kinomachi.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/kinomachi.jp>

YouTube : 近日公開予定





ウッド・チェンジ・アクション

① 施工実績

用途：庁舎
構造：木造
竣工：2022



2022年アクション



用途：店舗
構造：木造
竣工：2022

② モバイルハウス



モクタスキューブ
震災などの自然災害の際の応急仮設住宅としての利用を想定した木造による移動式住宅

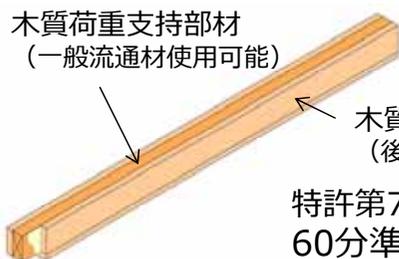
③ 「モクタス」誌発行



モクタス n° 4
2022年4月に発行

④ 技術開発

木質荷重支持部材
(一般流通材使用可能)



木質被覆材
(後張り、木現し可能)

特許第7119151号

60分準耐火試験合格技術あり (大臣認定手続き中)



はり加熱試験状況

今後のチャレンジ

豊かな森林を未来へ

持続可能な森林づくりへの参加検討

山元への利益還元を考える

効率的なサプライチェーンの構築支援の検討

「モクタス」による木材利用普及活動の継続

「モクタス」誌による情報の発信

【木材利用促進月間等での取り組み】

北海道都市開発・建設総合展への出展

木造技術の紹介による木造建築の普及を図る

課題・連携協力の可能性

・木造建築のコスト低減

・効率的なサプライチェーンの構築による連携

関連情報

モクタス (木造・木質建築) ホームページ <https://www.tokyu-cnst.co.jp/moctas/>

東急建設(株)ホームページ <https://www.tokyu-cnst.co.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

➤ 「国産材プレミアムパッケージ」の提案 (首都圏木材営業部)

- ・住宅一棟分の部材を国産材でパッケージ化して提案
- ・実物件で横架材を国産のスギ製材に替え、構造計算を実施
- ➡ カラマツやヒノキの集成材と組み合わせ、適材適所に用いれば、スギ製材でも構造上問題ないことを実証



➤ オリジナル木材製品の非住宅分野におけるスペックイン



進化した無垢材



大径木耐久赤身材

施工事例



今後のチャレンジ

- **国産材プレミアムパッケージの全国展開**
 - ・アッセンブル機能を強化し、全国で提案を展開
 - **無垢材による高付加価値製品の開発**
 - ・ファブレスメーカー機能として、各地の高次加工事業者と連携し、国産無垢材の付加価値や機能性を高めた商品を開発
 - ・山元への利益還元と地域経済の活性化に貢献
 - **木造建築のコストの低廉化**
 - ・一般流通材を活用した建築（工法）の提案
- 【木材利用促進月間等での取組】**
木材展示会「木フェス」（全国7カ所で開催）

課題・連携協力の可能性

- ・川上～川中～川下をつなぎ「国産材ファースト」のネットワークの構築することで顔の見える関係を実現
- ・非住宅の木質化に向け、グループ横断型の「WoWooDプロジェクト」を立ち上げ、木質空間提案を実施

WoWooD

関連情報

大径木高耐久赤身材「ObiRED®」<https://obired.jp/> 表層圧密テクノロジー「Gywood®」<https://gywood-muku.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

全国各地で木を活かしたプロジェクトを続々と実現しています



北海道：星野リゾート 界ポロト



東京：
COERU
SHIBUYA



兵庫：空中禅道場



熊本：八代市新市庁舎



神奈川：松田小学校

今後のチャレンジ

前田建設の木造は、「伐って→考えて→作って→使い続ける」のサイクルを継続し、お客様に長く使っていただくために、維持管理に関する知見を積み重ね安心して木造建物を使っていただけるご提案ができるように研究を積み重ねます。



経年による色の
変化などの調査

課題・連携協力の可能性

インフラニアグループである前田建設工業は、総合インフラサービス企業として、森林もインフラの一つととらえ、日本の持つ様々な社会課題と、木で建てたいお客様とをつなぐ役割を果たしていくために、様々な技術開発を行い、それらを取り入れながら、その地域にあった中大規模木造建築に取り組んでまいります。

関連情報



木で建ててみよう 前田建設×木

<https://kidetatetemiyou.com>



私たちは木で建てることを通じて多面的に社会と関わり、木に寄り添いながら新しい価値を創り出していきたいと考えています。



ウッド・チェンジ・アクション

【建設事例紹介】

特別養護老人ホーム新田楽生苑 (MH)

・炭素貯蔵量：1,774t-CO₂ (スギの木7,116本分)



(仮称) 鹿児島市南部地区特別支援学校 (MHC)

・屋根組に鹿児島県産スギの木質トラス利用



今後のチャレンジ

『秋田県産スギ材を活用した畜舎モデル』 (MHC)

さらに、
全国地域材 (スギ) を倉庫・店舗への利用へ拡大



【木材利用促進月間等での取組】

ジャパンホーム&ビルディングショー2022出展 (MHC)

課題・連携協力の可能性

(MH) 物価上昇に対する網羅的コストダウン

(MHC) 各エリアの地域材の強度試験の実施

関連情報

(MH) 2022.8.30ニュースリリース 「国内最大級の枠組壁工法による木造5階建て特別養護老人ホームが完成」
<https://www.mitsuihome.co.jp/company/news/2022/>

(MHC) ジャパンホーム&ビルディングショー2021出展

<https://www.mhc.vrbooth.net/2021/>



ウッド・チェンジ・アクション

- 日本橋において、国内最大級の木造賃貸オフィスビル（木造ハイブリッド建築）の計画を検討。
- 想定規模は地上17階建、高さ約70m、延床面積約26,000㎡で、現存する木造高層建築物として国内最大級。
- 2023年度着工・2025年度竣工を目指す。
- 構造材に使用する木材量は国内最大規模の1,000㎥となる見込み。
- 当社グループが北海道に保有する森林の木材を積極的に活用。建築資材の自給自足、森林資源と地域経済の持続可能な好循環の実現を目指す。
- 同規模の一般的な鉄骨造オフィスビルと比較して、建築時のCO₂排出約20%削減効果を想定。



▲完成予想パース
(2020.9.29ニュースリリース)

今後のチャレンジ

- 今後、先導的な設計・施工技術を導入し補助事業等への提案を目指す。
- 資金調達的手段として、グリーンボンドの発行等のESGファイナンスも検討予定（本計画とは別のプロジェクトで導入実績あり）。
- これまでになかった木造高層賃貸オフィスビルの実現により、都心での街づくりへの新たな価値創造や景観を生み出す魅力あふれる場の提供を目指す。

課題・連携協力の可能性

- 竹中工務店と連携し、森林資源の循環を目指す企業として、お互いのノウハウを集結させ、本計画の検討を推進。
- 主要な構造部材には竹中工務店が開発した耐火集成材「燃エンウッド」を採用。

関連情報

(2020.9.29ニュースリリース)

三井不動産と竹中工務店、日本橋にて国内最大・最高層の木造賃貸オフィスビル計画検討に着手
～三井不動産グループが保有する森林の木材を使用し持続可能な社会の実現に貢献～

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2020/0929_02/



ウッド・チェンジ・アクション

三菱地所では、木を活用する社会の実現を目指して、2020年1月にMEC Industry株式会社を鹿児島県に設立し、本年6月より製材・製造工場も全面稼働し、国産材を活用した木製品の製造が開始しています。

新建材事業

新たな建築資材で「木空間」をもっと身近に、そして当たり前。



<MEデッキ>
既存のRC造/S造の建築物の天井に「木空間」を実現する型枠材兼仕上材



MOKUWELL事業

高品質・低価格な建物供給を通じて人々の暮らしを豊かに。



<MOKU WELL HOUSE>
CLT等を使用し、あらかじめ工場で作った部材を現場で組立てることで、短工期・低コストで戸建住宅を供給する事業



木有活事業

総合林業事業会社だからこそ可能な山林資源の新たな活用。



今後のチャレンジ

三菱地所グループの総合力を活かし、材供給、設計、施工、販売までを一気通貫で行える体制を整備していきたいと考えています。



課題・連携協力の可能性

国産材を活用した新商品開発など、様々な業種の企業と協働整備していく可能性も感じています。また、川上側とも連携し、win-winの関係となる集木方法などについても議論を進めています。

関連情報

HP : <https://www.mec-industry.com/>



ウッド・チェンジ・アクション



地域に根差した木造園舎

- 建設地：岩手県盛岡市
- 用途：幼稚園
- 構造・規模：木造平屋1,474㎡

内装材にも積極的に木材を採用し、子供たちへの「木育」を推進。



今後のチャレンジ

- ・「脱炭素社会」の実現に向けて、公共建築における積極的な木造建築の提案を推進。
- ・地元大工での施工が可能な構造形式や部材にて構成することにより、地域経済への貢献となる建築計画。
- ・地球環境への負荷低減、森林資源の保全、林業や木材産業の活性化のための木材利用の推進。

課題・連携協力の可能性

地域産材を活用することで木材の伐採から加工、運搬などのサプライチェーンが強まり、地元林業の活性化に貢献

関連情報

SDGs目標達成に向けた久慈設計グループの取り組み：<https://kujisekai.com/sdgs/>



ウッド・チェンジ・アクション

昭和学院小学校ウエスト館竣工

700㎡のCLTを用いた木に包まれた学びの空間。CLTフラットスラブ工法を用い、梁型のないおおらかに連続する木のあらかわし空間を実現した。

木質ユニット「どこでもつな木」の販売開始

木材と専用クランプを使って自由な用途とサイズで空間を組み立てられる「つな木」シリーズの「どこでもつな木」を2022年8月に販売開始。レンタル・リースも開始予定。

木育ワークショップの開催

「つな木」を用いた木育ワークショップをとくしま木づくりフェア、昭和学院小学校、アクリエ姫路等にて開催し、「つな木」の普及、地域材利用を促進。



昭和学院小学校ウエスト館



どこでもつな木



木育ワークショップ

今後のチャレンジ

- ・ 森林資源の循環、国土の保全を目的とした **都市・建築の木質化の研究および実践**
- ・ 中大規模における**木造・木質化建築の設計**
- ・ **木造・木質化のコンサルティング**
- ・ 川上・川中・川下をつなぐ**ウッドコーディネーション**
- ・ 木質ユニット「つな木」の普及
- ・ **木育ワークショップ**の開催

課題・連携協力の可能性

- ・ 川上・川中・川下のサプライチェーンとの連携協力
- ・ 「つな木」普及に向けた地方製材所をはじめとした **専門業者・施主等との連携**

関連情報

Nikken Wood Lab : <https://www.nikken.co.jp/ja/insights/tsunagi.html>
 つな木 : <https://tsunagi-wood.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

■ 木材の利用促進のための部材開発



カフェ板 厚30mm×200mm×2000mm
スギのリフォーム・リノベーション用無垢板
床材,パーティション,DIYなどに利用
年間販売量 約9,000m³



ムクボード 厚24mm×910mm×1820mm
スギまたはヒノキの無垢巾はぎパネル
合板の代替になり床材,内装材などに利用
年間販売量 約6,500m³



ハイブリッドビーム
内層にスギ、外層にベイマツを組み合わせた
異樹種構造用集成材
年間販売量 約10万m³

■ 木材供給

乾燥材,集成材,プレカット部材など年間約174万m³販売

今後のチャレンジ

■ 木造化モデルの検討・作成に協力

木造化モデルに使用される構造部材の仕様決定に協力し、国産材の利用拡大が図れるよう、樹種やサイズなどの選択に自由度のある仕様をしたい。

■ 中高層木造ビルへの活用

中高層木造ビルに使用できる部材などを開発し、供給していきたい。

課題・連携協力の可能性

■ 課題

発注者の部材に対する要望を明らかにする。

■ 連携協力の可能性

発注者やハウスメーカー、工務店と協力し、要望に応えることのできる部材の提案または部材開発を行う。

関連情報

中国木材株式会社 <http://www.chugokumokuzai.co.jp/>



ウッド・チェンジ・アクション

これまでも木材利用をより広い範囲に広げるため、集成材やCLTの製造・加工、中・大木造建築の設計から施工まで手掛けてきた。木造ビルなど中・大規模建築で利用されるCLTの普及と超大型集成材の製造設備導入で、国産材利用と木造建築を推進する。



住宅用集成材
トップクラスのメーカー

超大型集成材設備
木造ビル等で使われる
巨大な木の柱を製造可能

CLTの製造・加工
国産材を活用し、
木造建築を推進

木質バイオマス発電設備
工場から出た木くずで発電

自社製品である集成材、CLTが使われた事務所兼ショールームが2020年に竣工。バイオマスも含めた木材利用を知ってもらう拠点に。



本社事務所（外観）
2020年竣工

本社事務所（内観）
集成材とCLTの事務所

本社事務所
小学生見学の様子

今後のチャレンジ

- ・非住宅用集成材とCLTの年間製造量アップ
- ・岡山SDGs広域体感ツアー参画

【木材利用促進月間等での取組】

- ・「WOODコレクション2022inあいち」への出展
- ・「建築フェス2022」（岡山）への出展

課題・連携協力の可能性

CLTについて、設計者を中心により多くの人に知ってもらうための取り組み、使いやすい仕組み作りを推進する

ゼネコンや住宅会社との共同開発を積極的に進める

関連情報

銘建工業ウェブサイト webカタログ (<https://www.meikenkogyo.com/catalog/>)
銘建工業オフィスツアー動画 (<https://www.youtube.com/watch?v=YIRaouT6j-4>)



ウッド・チェンジ・アクション

CLT（直交集成板）を用いた建築の普及に向けて

①製造基準・性能基準に関するデータを整備
→CLTのJAS、CLTパネル工法の告示の改正に貢献。

②CLTの製造コスト削減のための技術を開発
→製品寸法の標準化、接着工程等の最適化で製造コストを半減可能に。さらに従来より短く効率的なマイクロフィンガージョイント技術を開発。



CLT製造装置を開発し効率的製造方法を検討

③CLT建築物の施工コスト削減のための技術を開発
→施工コストを他工法並に削減可能な施工方法・耐火部材等を開発し、LCA評価により環境影響の優位性を実証。



CLT建築の施工コストを建物で実証

今後のチャレンジ

用途に応じた木材製品の安定供給に向けて
大径材の加工・流通システムの開発、国産早生樹種等の材質・加工特性の解明と利活用技術の開発
非住宅・中高層建築物等への利用拡大に向けて
CLTの利活用技術や新たな木質材料の開発、木質材料・木質構造の性能維持管理技術・耐久性・安全性の高度化、木材ならではの快適性、健康機能、環境優位性の創出

【木材利用促進月間等での取組】

・公開講演会「ネットゼロエミッション達成のための森林の役割」を開催（10月5日：一橋講堂 & オンライン）

課題・連携協力の可能性

- ・新規木質材料の製造技術の小規模実証
- ・新規木質材料およびそれらを用いた木質構造の実大性能の評価
- ・木質構造・木質空間の良さの科学的解明

関連情報

研究成果選集 <https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2019/documents/p32-33.pdf>
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2020/documents/p30-31.pdf>
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2022/documents/p32-33.pdf>





ウッド・チェンジ協議会の取組に関する資料は
林野庁ホームページにて御覧いただけます。
是非とも、御覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>

